

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公開番号】特開2002-358902(P2002-358902A)

【公開日】平成14年12月13日(2002.12.13)

【出願番号】特願2002-121328(P2002-121328)

【国際特許分類第7版】

H 01 J 11/02

H 01 J 9/02

【F I】

H 01 J 11/02 B

H 01 J 9/02 F

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月1日(2005.11.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 第一のプレート面に複数対の表示電極を介して誘電体層を被覆する第一ステップと、前記第一のプレートと第二のプレートの面を列方向に延伸した複数のアドレス電極を介して対向させ、一本のアドレス電極とこれに交叉する一対の表示電極に対応する領域をセルとして、当該セルに放電ガスを封入する第二ステップとを備えるプラズマディスプレイパネルの製造方法であって、

第一ステップで表示電極をバスラインと透明電極により構成し、誘電体層を、表示電極を被覆する厚さ3~5μmの第一の層と、バスラインに対応する第一の層上に積層される厚さ15~25μmの第二の層により構成することを特徴とするプラズマディスプレイパネルの製造方法。

【請求項2】 第二ステップで封入する放電ガスには、Xe 8%~90%の分圧で含まれる請求項1に記載のプラズマディスプレイパネルの製造方法。

【請求項3】 複数対の表示電極と当該表示電極を被覆する誘電体層を正面に備えた第一のプレートと、列状に延伸した複数のアドレス電極を正面に備えた第二のプレートとが、前記第一のプレートと第二のプレートの正面を対峙して対向配置され、一本のアドレス電極とこれに交叉する一対の表示電極に対応する領域をセルとして、当該セルに放電ガスを備えたプラズマディスプレイパネルであって、

前記表示電極はバスラインと透明電極より構成され、

前記誘電体層は、表示電極を被覆する厚さ3~5μmの第一の層と、バスラインに対応する第一の層上に積層される厚さ15~25μmの第二の層より構成されるプラズマディスプレイパネル。

【請求項4】 誘電体層に一対の表示電極が配設された領域を複数有し、前記一対の表示電極は表示電極間に5V/cm・Torr以上の換算電界強度の電界が発生する構成としたことを特徴とする請求項3記載のプラズマディスプレイパネル。

【請求項5】 前記プラズマディスプレイパネル中の放電ガスには、キセノンが8%~90%の分圧で含まれる構成であることを特徴とする請求項3記載のプラズマディスプレイパネル。

【請求項6】 前記一対の表示電極のうちの一方は、他方に対向して凸部が形成されている構成であることを特徴とする請求項4または請求項5に記載のプラズマディスプレイパ

ネル。

【請求項7】 前記表示電極の凸部は、前記領域単位に一箇所ずつ配設された構成であることを特徴とする請求項6記載のプラズマディスプレイパネル。